

令和7(2025)年度 イェール大学プログラム

応募要領/カリキュラム概要

令和7年(2025年) 8月

Agenda

1. はじめに
2. 目的及び参加のメリット
3. 参加対象者
4. カリキュラム（概要）
5. 現地研修スケジュール（概要）
6. 受講料及び問合せ先等

はじめに

President Maurie McInnis イエール大学学長からのメッセージ

The PEAKS program is among Yale's most prized collaborations—and we are delighted to host it again this fall. At this forum, leaders of Japanese universities, government, and industry come together with Yale experts to explore how innovation ecosystems can unleash entrepreneurship. We hope you will join us.

—President Maurie McInnis '96 PhD



上山 隆大 内閣府本府参与 からのメッセージ

日本がイノベーションによって新たな価値を生み出すためには、大学が持つ潜在的かつ膨大なシーズやアイデアを探究し使い尽くすことが大切です。そのためには大学のみならず官庁や産業界も大学の経営体を深く理解して知の融合がなされることが不可欠です。この研修では、イエール大学の協力を得て、NYというビジネスの中心における大学の役割についての事例も学びつつ、同時にイエール大学のみならずその他の州立大学のケースも考慮に入れたオリジナル研修プログラムを開発しました。産学官から志ある参加者を期待します。



1. 目的及び参加のメリット

プログラムの目的

大学支援フォーラムPEAKS／内閣府では、我が国の大学、及び科学技術・イノベーションに関わる政策動向の理解に加え、イエール大学等でのディスカッションを中心とした研修を通じて、産業界・大学・政府関係者の更なる知見集積と、グローバルな人的ネットワークの構築と推進を図ることを目的に、イエール大学等と開発したオリジナルプログラムを実施します。



参加のメリット



産学連携・大学経営・イノベーション・スタートアップ創出等について学べる



イエール大学のトップ層・米国の産学連携のトップランナーより直々に学べる



国内外の産学官との人的ネットワークが構築できる



アメリカ・イエール大学及びニューヨーク市にて5日間の対面研修を受講できる

2. 参加対象者

参加者属性



応募要件



大学

将来の大学のマネジメントを担う強い意志のある幹部教職員、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 現在、副学長・部局長・学長補佐・副理事、事務局長、ないしそれに準ずる役職(部長・課長など)についている方を主な対象とします。
- 尚、教員・職員・URA・技術職員など、どの職種の方でもお申込みいただけます。



産業界

産学連携・研究開発を担う人材、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 産学連携部門・知財マネジメント部門、研究開発部門の執行役員・部長・課長、ないしそれに準ずる役職についている方を主な対象とします。



政府

大学政策・科学技術イノベーション政策の企画決定に携わる者

1組織から複数名ご応募いただけます。また本プログラムへの応募にあたっては、上記要件を満たす者として、応募者所属組織による推薦が必要です(応募フォームに所属組織の担当部署の連絡先をご記入ください)。

なお、参加者は、プログラム修了後に各所属組織において研修等を開いたり、組織改革の実行に取り組むなど、本プログラムで得た知識等を組織に還元・活用いただくことを了承頂いた上でご応募ください。

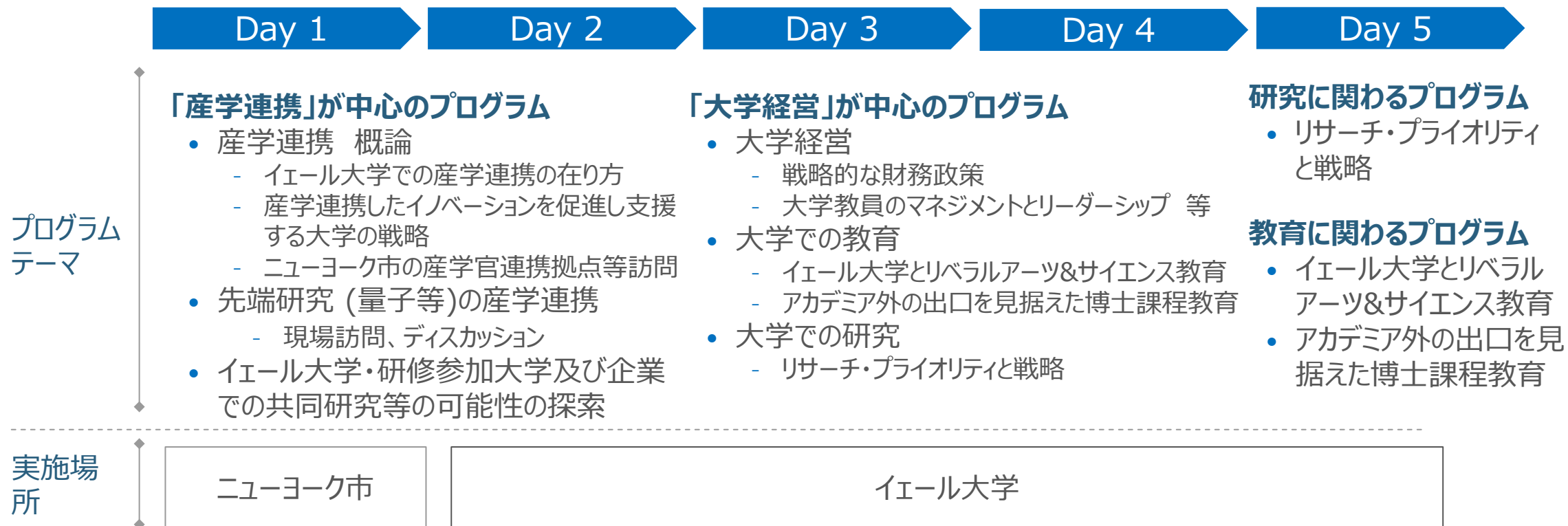
3. カリキュラム（概要） ※予定

		内容	時期・場所など
1		自己学習	- 事務局が用意する動画・資料等を用い、研修に関わる基礎知識を習得する - 受講決定後～2025年10月頃 - 詳細は受講決定後に共有いたします。
2		国内事前研修 (半日・東京)	- 国内外の産学連携、大学経営及び科学技術・イノベーション政策の最新動向への理解を深め、現地研修での議論の準備をし、参加者同士のネットワーキングを図る 2025年10月26日(日) 午後(予定) - 東京(対面)
3		現地研修 (5日間・アメリカ)	- 産学連携や大学経営に関連したテーマにつき、イェール大学のトップ層や米国の産学連携のトップランナーとのディスカッション・視察等を行い、トップ大学等の実践を学び、ネットワーキングを図る - 研修：2025年11月3日(月)朝～11月7日(金)夜 ※ 日本発着の場合のモデル日程： 11月2日(日) 日本発 11月3日(月)～7日(金) 研修受講 11月8日(土) アメリカ発 11月9日(日) 日本着 - アメリカ・イェール大学及びニューヨーク市にて実施 ※ 全てのプログラムを英語で実施（同時通訳なし）
4		国内事後研修 (半日・東京)	- 現地研修を踏まえ、所属組織で今後取り組みたい内容を共有・議論する 2025年12月6日(土) 午後(予定) - 東京(対面)

参加者各自が各所属組織において研修等を開いたり、組織改革の実行に取り組むなど、本プログラムで得た知識等を組織に還元・活用していただきます

※ 応募にあたり、③の全日程の参加が必須です。
②および④についても原則参加が必須です。

4. 現地研修スケジュール（概要） ※予定



※ 研修スケジュールは調整中のため、研修内容の変更や、研修実施場所の日程が前後する可能性があります。

5. 受講料・問合せ先等

受講料



研修費用：約56万円程度

- 研修中の移動交通費
（ホテル⇄イエール大学等） /
日～金の宿泊費・朝食費（一部の昼食・夕食費）込み



現地までの旅費：約30～40万円

- 航空券及び宿泊先ホテルまでの交通手段は各自で手配いただきます。

※費用は為替相場等の影響で増減する可能性があります。

問合せ先等



本プログラムのお申込みに関するお問い合わせ先

- 大学支援フォーラムPEAKS事務局
（ボストン・コンサルティング・グループ ※内閣府より事業を受託）
担当：亀岡
メールアドレス：Peaks@bcg.com

（ご参考）

○大学支援フォーラムPEAKS ウェブページ

<https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/>

○本プログラムの紹介ウェブページ (PEAKSウェブページ内)

- <https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/kenshu.html>

イェール大学プログラム：応募要領

募集・選考のプロセス・留意事項



2025年度イェール大学プログラムは**15名程度**を定員とします。

- 一次募集で採用人数が定員に達しなかった場合に限り、二次募集を行います。二次募集を行うか否かはPEAKSのウェブページで公開します。
- 受講者については、申込み書類をもとに厳正な選考を実施したのち、最終決定いたします。
PEAKS構成員組織所属でなくても応募できますが、PEAKS構成員組織所属の方は選考時加点します。
事前・現地・事後研修の全日程に参加できる方を優先します。
- 選考プロセスは全て非公開であり、選考の内容についてはいかなる内容についても回答することができません。
ご了承ください。

受講を希望される方は、受講にあたっての業務調整等、ご自身の所属組織から協力が得られるように各所調整の上、お申込みいただきますよう、お願いいたします。

応募方法



本プログラムへの参加を希望される方は、以下URLまたはQRコードより必要項目を入力し、送信してください。

<https://forms.office.com/r/3DjWwZ16aq>



《お申込み締切》

一次募集〆切：2025年 8月29日 (金) 17:00 まで
二次募集〆切：2025年 9月 5日 (金) 17:00 まで

《結果通知予定》

一次募集：9月16日(火)までに通知予定
二次募集：9月22日(月)までに通知予定